



Governor's Monthly Communication



国際ロータリー第 2720 地区 熊本・大分
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2720

ガバナー月信
2016.04

vol. 10

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第 2720 地区
2015～16 年度ガバナー 野田 三郎

皆さん、こんにちは。RI2720 地区 ガバナーの野田三郎です。

先日 3 月 26～27 日に開催しました RID2720 地区大会は、皆様のご支援とご協力によりまして無事終了することができ、大変ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

地区大会のご報告は、後日改めてさせていただきますので、ここでは省略させていただきます。

さて、今年度も 10 か月目に入りまして、4 月は「母子の健康月間」です。

母子の健康（ロータリー 6 つの重点分野の 1 つ）についてお話ししたいと思います。

RI では、妊産婦や子供たちの健康の改善に努めています。世界では、毎年 700 万人以上の子供たち（5 歳未満）が栄養失調、不健康、不衛生のために命を落としています。このような現状を改善するため、乳幼児への予防接種、基本医療の提供、産婦人科・小児科を専門とする人材育成に加え、現地の人びとが自らの手で医療研修プログラムを継続できるよう支援しています。

ロータリアンとして、できれば現地の状況も確認の上、ロータリー財団のグローバル補助金を活用して支援していきたいものです。

今月は「ロータリーと私の人生観について⑦」として、「自分の人生、自分の思ったようになる」についてお話をしたいと思います。

この事は、あなたが変われば、あなたの周りの人が変わるからであります。

あなたの周りの人は変わりませんので、あなたが変わることが最初です。

あなた自身の意識が高まり、あなた自身の成長を通して、周りの人の中にあなたを信頼する人が一人でも多くなるからであります。

私の経験でも、ものごとの本質は、自分自身が思ったようになると思います。

私たちを取り巻く環境は、家庭生活、職場生活、社会生活において、常に変化していますので、その変化への対応するための課題は、これはもう常に山積をしております。

4月は「母子の健康月間」です。

3月26日に開催されました国際ロータリー2720地区、地区大会には、地区内外より数多くの皆様のご参加を頂き誠にありがとうございました。熊本城の桜も見事に開花し、天候にも恵まれ、祝福を頂いたように感じさせて頂きました。

*4月16日には、2720地区と台北3480地区との姉妹地区締結が予定されています。

また、その課題は、その生活分野において活動すればするほど、たくさん出てくるものです。しかし、その本質は、思ったようになってくるものです。

私は、熊本南ロータリークラブに入会して33年になりますが、30代、40代を振り返って見て、当時の先輩会員からの「自分が変わる」教えに大変感謝していることを2点お話ししたいと思います。

熊本南ロータリークラブでは、先輩会員から「頼まれごとは、断るな」ということをよく言われておりました。

ある時、クラブの周年行事の際に、「懇親会で司会をなささい。」と言われ、渋々受けたことがありました。自分に自信がある事や経験したことであれば、受けることにあまり抵抗は無いのですが、苦手な事ややったことが無いことは誰しも受けたくないと思うのは当然であります。しかし、積極的に我慢して、引き受けることで新たな自分を発見することができ、自分自身の成長にも繋がってくるものです。

また、熊本南ロータリークラブの先輩は、「何かを依頼するときは、忙しい人に頼め」とよく言われていました。

忙しい人は、大きな負荷が掛かっても処理していくが、そうでない人は新たな負荷が掛かると処理できなくなるということのようでした。

今以上に負荷が大きくなれば、どうすればよいかと知恵が出て、前段取りが良くなったり、同程度の事象をこれまでより短い時間で決断したり行動したりすることで、結果的に自分自身の能力向上につながってくるものです。そのことが、自分が変わることに繋がってくると思います。

その当時は、いやいやながら対応した事もたくさんありましたが、今になって大変な勉強をさせて頂いたものだと感謝に堪えません。

そのように、熊本南ロータリークラブの先輩会員から教わったことが、私の人生の基盤を創ってもらったようにも感じております。

この事は、今年度ガバナー公式訪問にて、最後に各ロータリークラブの皆さんへ、私からのお願いとして「ロータリアンの意識を高めるには、各クラブ内においてロータリーの哲学や精神をよく理解している入会歴の古い年配会員から、入会歴の新しい若手会員に対して、これまでにロータリー活動をと通して得てこられたものやご自身の人生哲学や人生観を、若手会員に是非お伝え頂きたい」と述べさせて頂いたところです。

またこの事は、またクラブ内の世代間の繋がりを密にすることになり、そしてクラブの将来発展につながっていくものと確信しております。

ロータリーの発展や各クラブの長期的発展は、「人でつないでいく」ものだと考えます。

先輩会員の皆さん、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会長エレクト研修セミナー (PETS)

会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告

ガバナーエレクト 前田 眞実

去る 2 月 27・28 日 (土・日) の 2 日間で会長エレクト研修セミナー (PETS) が、前田ガバナーエレクトの召集、小山地区研修リーダー並びに地区研修委員会の企画によりホルトホール大分にて開催されました。奇しくも地区チーム研修セミナーと同じ 134 名の登録数でありました。スケジュールは下記の通りです。



ガバナーエレクト

前田 眞実氏

1日目 11:00	開会 ホストクラブ会長挨拶 参加者の紹介並びにガバナーエレクト挨拶 ガバナー挨拶 ガバナーノミー紹介 (ガバナーノミー挨拶) 会長エレクト研修セミナーについて セッション1: 国際協議会報告と次年度の地区方針について セッション2: 現状認識について セッション3: 会長の役割と責務について セッション4: アイデア交換 (8グループにてディスカッション) セッション5: 地区部門の理解 部門説明 セッション6: 会長経験者の体験発表 (1人7分×2) セッション7: 会長の時間について 全体質疑&アンケート記入 閉会	司会 : 次年度地区幹事 中野 裕貴 大分キャピタルロータリークラブ会長 利光 恭子 ガバナーエレクト 前田 眞実 ガバナー 野田 三郎 次年度地区研修リーダー 小山 康直 ガバナーエレクト 前田 眞実 次年度地区研修委員 吉村 俊彦 次年度地区副研修リーダー 中川 貴夫 DLは次年度ガバナー補佐 ガバナー補佐 川村 小野健 次年度地区副研修リーダー 中川 貴夫
18:10 19:00	親睦交流会 ご祝儀舞 長唄 春の調べ 開会 ガバナーエレクト挨拶 乾杯 万歳三唱 閉会予定	司会 日本舞踊 花柳三紗華 地区副幹事 森永 隆二 ガバナーエレクト 前田 眞実 地区研修リーダー 本田 光暁 次年度地区研修リーダー 小山 康直
20:40 2日目 9:00	開会 研修リーダー挨拶 セッション8: アイデア交換 (グループディスカッション) 発表 (8グループの代表、1人3分程度) セッション9: 目標設定 ロータリークラブセントラルと目標 (仮) 設定 (目標設定用紙配布) 決意発表 (1人3分) セッション10: 連絡とお願い 地区予算について 今後の地区行事について (地区大会の日程の承認をもらう) お願い 地区運営ハンドブックについて セッション11: 地区グループ会議 拡大委員会より 全体質疑と評価書記入 講評 閉会 終了挨拶)	司会 : 次年度地区幹事 中野 裕貴 次年度地区研修リーダー 小山 康直 DL次年度ガバナー補佐 8グループの代表者 次年度研修委員 早水 琢也 会長エレクト3人 次年度地区財務委員長 園田 勝美 次年度地区幹事 中野 裕貴 次年度地区副研修リーダー 作守 順子 次年度研修委員 早水 琢也 次年度ガバナー補佐 次年度研修委員 片山 勇 次年度地区研修リーダー 小山 康直 ガバナーエレクト 前田 眞実
12:30		

会長エレクト研修セミナーの目的は「①会長エレクトが次年度の役割に備える。②会長エレクトが地区ガバナーエレクトや次年度のガバナー補佐と会い、次年度に向けて意欲を高め、相互の協力関係を築く」とあります。今年のセミナーには第 2720 地区内 74 クラブの会長エレクトとバストガバナー、ガバナー補佐、8 部門長他、総勢 134 名の参加があり、目的を存分に満たすメンバーにて進められました。



最初に野田ガバナーの挨拶があり、小山次年度研修リーダーより、ロータリアンとして、ロータリーを更に深めクラブや地区全体を盛り上げていくエネルギッシュなリーダーになって下さいと身の引き締まる挨拶を頂きました。研修内容については 11 のセッションにおいて、ガバナー―エレクトの次年度の方針に始まり、テスト形式による現状認識、クラブにおける会長の役割と責務を PP により詳しく中川次年度副研修リーダーが行いました。



その後 8 グループに分かれての意見交換や、部門の理解を 8 グループの会長エレクトがグループごとに各部門長のいる会議室に訪れて、説明を受けると言う、今年初めての試みでした。9～10 人単位のグループなので会長エレクト同士の親睦も図れ、とても充実した企画でした。その後、ガバナー補佐による会長の体験談や、会長の時間についての熱い講義があり、1 日目の研修を終えました。19 時からレンブラントホテルに場所を変え、親睦交流会が開催されました。この交流会の席は研修時の会長エレクトのグループと同じメンバーであったため、更なる親睦が図れたようです。企画をした中野次期地区幹事に感謝です。2 日目はグループディスカッションでアイデア交換を行った後、各自の目標を目標設定用紙に記入してもらいました。特に次期 RI 会長のジョージャーム氏は 3%の会員増強と年次基金 5%アップを目標に掲げていますので、そのことを意識した目標設定になりました。3 人の会長エレクトに決意発表をしてもらいましたが、クラブや地区の未来は明るいと感ずる発表内容でした。次に園田財務委員長より来期の予算について、作守副研修リーダーより地区からのお願い等があり、最後に地区内 12 グループに分かれ、次年度の各々のグループ内の打合せを行いました。2 日間、とてもハードなプログラムでしたが、会長エレクトの疲労感の中にも充実した顔が見られ、とても有意義な研修だったと思います。作守副研修リーダーをはじめ委員の皆様にご心より感謝を申し上げ報告と致します。

ローターアクト

インドポリオ活動報告

熊本南ローターアクト 中川 友美

2月19日から23日までインドにて行われたポリオワクチン投与活動にロータリアン33名、ローターアクト6名、ROTEX4名、一般の方7名の計50名で行って参りました。日本以外ではアメリカ、イギリス、フランス、韓国等のロータリーの方々が200名ほど参加していました。

インドでの活動は20日から22日までの3日間で、以下の日程になります。

- 20日 ワクチン投与活動宣伝のパレードへの参加
- 21日 ワクチン投与活動（ブースにて）
- 22日 ワクチン投与活動（戸別訪問）

初日のパレードは約800名の現地の学生と共に「KEEP INDIA POLIO FREE」と声掛けしながら街中を練り歩きました。このパレードの目的は「明日からワクチン投与の日です。子ども達を連れてきてください」とお知らせをすることです。

2日目はブースでのワクチン投与活動になります。

子どもが来たらワクチン投与⇒左の小指にマーキング⇒プレゼントを渡すというを行いました。各ブース200～300人近くの子供達がワクチンを接種しに来ていました。2時間余りの活動でしたが、あっという間に時間が経ったように思います。

最終日の戸別訪問ではリストをもとにブースへ色々な事情で来なかった、来れなかった子どもたちを目指して一軒一軒家を回って行きました。私の回った地区は一人しか投与することができませんでしたが、それだけ大人たちのポリオへの関心が高いため自ら積極的に子供を連れて投与に来てくれたのだらうと思えました。



ワクチン1本で約10名分投与することができます。（1人につき2滴投与します）たった2滴の投与ですが、この2滴で子どもたちの未来を守ることができる、ポリオからの恐怖から逃れられると思うと胸が熱くなるのを感じました。



ポリオワクチン投与活動において、現地の子ども達の素直で人懐こく純粋な目は私たちの心に強く刻みこまれ、その状況を伝えていくことが今後私たちに課せられた使命だと思えます。今後も活動においてインドを始め他の国々の救いの手を求めている子ども達に手を差し伸べていきたいです。



今回初めての海外でインドへ行かせていただきました。いざ行ってみると大気汚染が凄く、また街中にゴミが溢れており、想像以上の環境で驚きを隠せませんでした。中には裸足で生活している人たちもいました。本当に衝撃的でした。

現地の様子を見て、当たり前のように衣食住がそろい、学ぶ環境が整っている日本がいかに恵まれているかということを感じました。

このワクチン投与活動という大きなプロジェクトを通じて初めて会ったとは思えないほどの絆をこの経験から築くことができ、この出会いをこれから先大切にしていきたいと思える素晴らしい時間を送ることができました。

日本から出なければ気づかないことが多々あり、このような機会を与えてくださった熊本南ロータリークラブの皆様には感謝の気持ちしかありません。

今回の経験を活かし、今後のアクト活動をより充実したものにしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

米山奨学生

2015 学年度米山奨学生終了式・歓送会報告

米山記念奨学会部門長 秋吉 実

地区内のロータリアンの皆さまには、平素から米山記念奨学事業にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、2015 学年度米山奨学生の奨学期間も 3 月末をもって終了することとなり、3 月 5 日に大分で、6 日に熊本で「2015 学年度米山奨学生終了式・歓送会」が開催されました。

今年度の米山奨学生には 16 名が採用され、この日、大分の秋卒業者 2 名を除く 14 名が終了式をむかえました。終了式・歓送会には、奨学生、大学関係者、学友、並びに世話クラブのロータリアン総勢 70 名が参加いたしました。



米山記念奨学会部門長

秋吉 実氏



熊本では、野田三郎ガバナーから奨学生全員に終了証が手渡され、カウンセラーには感謝状が贈られました。大分では小山康直副ガバナーから奨学生へ終了証が、木下光一パストガバナーから、カウンセラーへ感謝状が贈られました。その後、奨学生とカウンセラーから一年間の報告とエピソードをお一人ずつ語ってもらいましたが、笑いあり、涙ありの和やかなムードの終了式となりました。





終了式の後には、大分では岡村泰岳理事、熊本では赤山武興評議員の乾杯のご発声で懇親会に移りました。それまでの緊張感から解放された奨学生たちもホッとした表情を浮かべながら、世話クラブの皆さまとの別れを惜しんでいました。



16名の世話クラブの皆さまには、奨学生が一年間、不安なく例会や活動に参加できるようサポートをしていただきました。特にカウンセラーの皆さまには、米山の行事や卓話と一緒に参加していただき、彼らを一番近くで見守りながら、幾度となく励まし、叱咤激励もして下さったことでしょうか。学生たちも、この奨学期間の経験は、これから社会で活躍する礎となり、私たちが期待する世界で活躍するリーダーとして、母国と日本の懸け橋になってくれると信じております。どうぞ、ロータリアンの皆さまにも引き続き、卒業していった学生たちが学友として活躍する姿を見守っていただき、時には電話や便りをしていただければ幸いです。

また、2016学年度の米山奨学生18名の世話クラブとカウンセラーも決まり、米山はロータリー年度より一足先に、この4月から新年度をむかえております。どうぞ、この一年間もよろしくお願いいたします。

最後に、米山記念奨学会の事業の目的を、地区内のロータリアンの皆さま方に、これまで以上にご理解をしていただけるように、地区米山記念奨学会部門の委員会活動の充実を図りながら、卓話やセミナー、研修会に取り組んでまいりますので、今後とも米山記念奨学会をよろしくお願い申し上げます。

青少年交換プログラム

青少年交換プログラムを終えて

青少年交換委員長 永田 壮一
委員 中 哲
委員 坂田 省三
委員 米倉 和喜

青少年交換事業は RI の常設プログラムとして、1974 年に RI 理事会によって採択されました。当地区においては 2004 年までは毎年行われていた青少年交換も 2004 年以降中断され 11 年間中断されたままでした。2014 年 6 月に開催されたシドニーでの国際大会の地区懇親会の席上、日本青少年交換委員会 (RIJYEC) 委員の木下光一 PDG から、中断していた青少年交換事業を再開したい旨お話がありました。

当時の委員長の許可を受け、同年 12 月に東京で開催された全国青少年交換委員長会議に出席させていただきました。その時に初めて 2008 年に日本青少年交換委員会が NPO 法人として法人化されこの組織を通して日本の全地区の RYE 委員長さんが組織化されて動いていることを学びました。それから、日本青少年交換研究会・静岡会議や青少年交換セミナーに参加させていただきました。

具体的なプログラムとしては、熊本県・熊本市が台湾・高雄市との友好関係を結んだ中で民間交流の一つとして青少年交換を行うことを熊本県から奨励していただきました。2015 年 7 月から青少年交換委員長に就任させていただき、直ぐに高雄市を訪問。RID3510 に連絡をし、3510 地区ガバナー・蔡堡當氏、青少年交換委員長・李月秀氏にお会いし具体的内容を決定いたしました。



今回は、4 名ずつの短期青少年交換プログラムを RI 第 3510 地区と RI 第 2720 地区の間で行い、2720 地区・本渡ロータリークラブをホストクラブとして、オーストラリア 9790 地区 Eltham RC との間に短期青少年交換 1 名ずつの計 5 名の青少年交換を行うことができました。12 年ぶりの青少年交換で右も左も分からず手探り状態のプロジェクトでしたが、河野誠男青少年奉仕部門長、野田三郎ガバナー、熊本県知事政策参与・吉村郁也氏、RIJYEC の津留起夫氏皆様のご助言、ご協力によりなんとか無事にプログラムを終了いたしました。

子供たちが、交換プログラムを終え、最後の友情を交換するときの笑顔と涙を見ると、この事業に携われたことの喜びを噛み締めるとともに今後も継続していかなければならないことを本当に実感しました。ありがとうございました。

ロータリー文庫

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 4 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリアンの矜持

「ロータリアンの矜持」

藤川享胤 / 2015 / 10p / (D.2800 月信)

「親睦の真意は」

櫻木英一郎 / 2016 / 1p / (D.2790 月信)

「ロータリーのバッジはいいバッジである」

塚原房樹 / 2015 / 1p / (D.2510 月信)

「続・国際ロータリーの変質」

新藤信之 / 2015 / 20p

「ロータリー創立記念日に纏わる遊び種」

神崎正陳 / 2010 / 9p

「ロータリーの親睦」

松田泰長 / 2016 / 1p / (D.2790 月信)

「“そよ風に 稲田のかおり 山深し” (ロータリーに輝きを)」

久野 薫 / 2015 / 1p / (D.2680 月信)

「いま求められる寛容の精神 “Toleration”」

塚原房樹 / 2016 / 2p / (D.2510 月信)

「『クラブ戦略委員会に関するアンケート』回答要約」

村橋義晃 / 2016 / 2p / (D.2660 月信)

ロータリー文庫 [上記申込先：ロータリー文庫]

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 / 開館：午前 10 時～午後 5 時（土日祝祭日休館）
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

お知らせ

肥後小国 RC 住所変更 〒869-2504 熊本県阿蘇郡小国町西里 2052-9-43 まるメディア(株)内
くにさき RC 例会場変更 〒873-0511 大分県国東市国東町小原 4005 ホテルベイグランド国東

寄付金のご協力感謝いたします。

ポール・ハリス・フェロー／ベネファクター



出田 晴彦
熊本西 RC
(ポールハリスフェロー 3 回目)

米山功労者



出田 晴彦
熊本西 RC



舩田 雅生
八代 RC



吉富 省也
宇城 RC

Donation

入退会者のお知らせ

※平成28年3月22日現在

入会者 新会員のご紹介をいたします。



玉名 RC

小山 倫生

職業：管工事
2016.3.3 入会

推薦者 山田邦男



玉名 RC

古賀 すみ代

職業：クラブ
2016.3.3 入会

推薦者 山田司郎



熊本 RC

東川 浩三

職業：信託銀行
2016.1.22 入会

推薦者 秋岡廣宣



熊本平成 RC

丸橋 賢一

職業：建築業
2016.1.4 入会

推薦者 石橋一隆



熊本平成 RC

高階 美佐子

職業：生命保険業
2016.2.1 入会

推薦者 谷山正典



熊本西南 RC

林田 信治

職業：塗料販売
2016.3.3 入会

推薦者 岸川健太郎



八代 RC

小嶺 俊秀

職業：ホテル
2016.1.8 入会

推薦者 宮崎浩二
竹永淳一



八代 RC

岡本 能幸

職業：港湾土木
2016.2.17 入会

推薦者 鳥巢勉
北原英則



八代 RC

古屋 雄一郎

職業：貯蓄銀行
2016.2.3 入会

推薦者 福島和敏
北原英則



八代 RC

高野 敬人

職業：銅製建具販売
2016.2.3 入会

推薦者 神園喜八郎
内田晴也



大分 RC

渦古 隆

職業：旅行業
2016.3.1 入会

推薦者 橋本均

退会者

クラブ名	氏名	職業分類	クラブ名	氏名	
熊本平成	田中 友紀子	飲食業	中津中央	今泉 栄一	輸入業
熊本江南	中川 香史郎	企画設計	大分	中川 智博	リース業
牛深	井上 暁	水産加工業	臼杵	山本 一	損害保険
//	益田 正昭	食料品製造販売			

物故会員

深く追悼の意を表しご冥福を祈ります。



今泉 栄一 会員 (中津中央 RC)

2016年2月逝去 (享年 88 歳)

ロータリー歴 34 年

2016年2月 例会出席報告

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)	通算出席率 (%)	会 員 数					グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)	通算出席率 (%)	会 員 数						
					年初 (7/1)	当月末	入会者	退会者	本年度増減						女性会員数	年初 (7/1)	当月末	入会者	退会者	本年度増減	女性会員数
熊本県第一	山鹿	4	61.76	71.67	31	34	2	0	3	5	大分県第一	中津	4	94.92	92.91	59	59	1	1	0	3
	玉名	3	78.05	71.23	44	46	2	0	2	1		日田	4	72.08	75.37	61	60	0	1	-1	3
	荒尾	4	85.62	80.95	40	41	3	2	1	2		中津中央	4	94.44	94.68	25	24	0	1	-1	1
	玉名中央	3	85.00	83.59	23	21	0	2	-2	3		日田中央	4	84.46	89.19	36	37	1	0	1	4
	(4 RC)		76.69	76.20	138	142	8	4	4	11		玖珠	3	77.27	76.04	22	22	1	1	0	1
熊本県第二	阿蘇	4	78.63	82.03	32	33	3	1	1	4	大分県第二	中津平成	3	69.44	75.77	24	26	2	0	2	0
	肥後大津	4	72.92	78.39	24	24	0	0	0	3		(6 RC)		83.10	84.23	227	228	5	4	1	12
	菊池	3	86.30	88.85	25	26	1	0	1	0		豊後高田	4	97.14	98.16	47	47	0	0	0	0
	肥後小国	3	64.10	67.79	15	14	0	1	-1	3		宇佐	3	98.96	92.39	33	32	0	1	-1	1
	熊本菊南	4	97.37	94.39	10	10	0	0	0	1		杵築	3	80.00	78.66	17	17	0	1	0	2
	熊本'05福祉	4	73.21	78.87	14	15	0	0	1	6		くにさき	4	75.00	71.76	19	21	2	0	2	3
	熊本りんどう	3	85.19	79.67	17	18	1	0	1	2		宇佐八幡	4	88.71	88.07	32	32	0	0	0	7
(7 RC)		79.07	81.44	137	140	7	4	3	19	宇佐2001	4	84.68	88.07	31	29	0	2	-2	2		
熊本県第三	熊本	4	89.18	89.91	78	84	6	1	6	0	大分県第三	(6 RC)		89.45	88.51	179	178	3	4	-1	15
	熊本東	4	86.15	88.72	36	36	0	1	0	0		別府	4	100.00	100.00	33	36	3	0	3	2
	熊本北	3	86.67	77.74	10	10	0	0	0	0		別府北	4	100.00	100.00	32	36	2	0	4	0
	熊本東南	4	81.69	81.51	40	39	0	1	-1	0		別府東	4	85.29	84.47	39	42	2	0	3	2
	熊本城東	5	89.71	90.73	34	36	2	1	2	3		日出	4	73.21	73.35	16	16	1	1	0	1
	熊本グリーン	5	66.35	72.15	22	22	0	0	0	2		別府中央	4	76.00	80.61	27	28	1	0	1	5
	熊本平成	4	72.00	70.60	24	25	2	1	1	3		湯布院	4	75.68	76.64	10	11	1	0	1	0
	熊本水前寺公園	4	70.15	69.29	20	20	0	0	0	11		(6 RC)		88.25	88.99	157	169	13	1	12	10
(8 RC)		82.72	83.51	264	272	13	5	8	19	大分	3	96.55	91.79	52	54	2	1	2	6		
熊本県第四	熊本南	5	65.79	83.43	59	63	6	2	4	0	大分県第四	大分東	3	96.39	94.95	33	34	2	2	1	0
	熊本江南	4	100.00	99.75	51	52	2	2	1	1		大分臨海	5	95.38	92.07	38	40	2	0	2	1
	熊本西南	3	95.35	95.69	41	46	5	0	5	0		大分南	3	93.07	90.67	34	37	3	1	3	0
	熊本西	4	93.18	94.39	9	11	0	0	2	1		大分中央	4	100.00	100.00	63	66	3	1	3	0
	熊本中央	4	96.67	97.87	26	30	2	0	4	3		大分1985	4	80.70	80.61	13	15	2	0	2	1
	熊本西稜	4	70.65	74.92	25	23	0	2	-2	4		大分城西	4	97.53	98.87	22	22	2	1	0	2
	(6 RC)		85.57	92.03	211	225	20	6	14	9		大分キャピタル	4	95.35	93.27	44	45	2	1	1	9
熊本県第五	八代	4	92.28	90.37	67	72	5	0	5	0	大分県第五	(8 RC)		95.90	94.12	299	313	22	8	14	19
	八代北	3	72.58	67.65	21	21	0	0	0	3		竹田	4	78.75	78.26	23	23	1	1	0	0
	八代南	4	70.35	70.76	43	44	2	2	1	1		佐伯	4	97.00	92.79	27	27	1	2	0	1
	宇土	4	82.50	67.00	20	20	0	0	0	4		臼杵	3	87.91	84.25	32	31	1	2	-1	3
	八代東	3	97.44	91.27	41	42	1	0	1	4		津久見	4	86.90	86.45	36	42	2	0	6	2
	宇城	4	75.00	76.96	28	28	2	2	0	1		豊後大野	3	73.33	70.51	15	15	0	0	0	3
	(6 RC)		83.69	80.58	220	227	12	5	7	13		臼杵中央	4	62.50	67.42	30	30	0	0	0	0
熊本県第十六	人吉	4	87.92	89.24	64	63	0	2	-1	4	大分県第六	佐伯 MARINE	4	77.42	71.49	31	31	0	0	0	2
	水俣	4	83.00	78.70	26	25	1	2	-1	3		(7 RC)		81.04	79.46	194	199	10	5	5	11
	多良木	3	73.91	77.02	27	24	0	4	-3	0		大分33RC計		88.08	87.46	1056	1087	53	22	31	67
	芦北	5	84.62	86.75	26	26	0	0	0	0		74RC総計		84.60	84.85	2348	2412	122	58	64	155
	人吉中央	4	84.26	87.80	31	29	0	2	-2	3											
(5 RC)		84.39	85.18	174	167	3	10	-7	10												
熊本県第七	本渡	4	80.47	80.96	39	39	2	2	0	3											
	牛深	4	81.48	77.88	25	27	1	0	2	1											
	西天草	4	76.71	79.03	21	21	0	0	0	0											
	天草中央	4	81.88	79.20	41	43	2	0	2	1											
	天草パールライン	4	50.00	56.45	22	22	0	0	0	2											
(5 RC)		75.76	75.61	148	152	6	2	4	7												
熊本41RC計		81.84	82.73	1292	1325	69	36	33	88												

◆内女性会員数
7月1日/153名 2月末155名
入会：10名 退会：8名 増減：2名